

〔科目名〕 財務戦略	〔単位数〕 2 単位	〔科目区分〕 専門科目 展開科目																					
〔担当者〕 長谷川美千留	〔オフィス・アワー〕 時間: 講義の際にお知らせします。 場所: 503 研究室	〔授業の方法〕 講義																					
〔科目の概要〕 <p>現代企業は継続企業として存在している。企業が、継続企業であり続けるためには、企業価値の向上という経営上の目的を達成し続けなければならない。伝統的な財務戦略とは、このような企業の経営上の目的を達成するために必須のものであり、経営戦略を財務(すなわち資金調達、資金運用)の側面から具体化し、支援するものと考えられる。</p> <p>企業を取り巻く環境は常に変化しており、これに応じて、近年、財務戦略の在り様も変化している。このような変化の背景には、我が国の企業の株式所有構造が変化し、外国人投資家との企業との関係がとりわけ重視されるようになったという事実がある。これと同時に、財務指標のひとつである ROE の重要性や企業価値向上が盛んに議論されている。その一方で、過度の株主重視経営から脱し、多様な利害関係者に目を向けつつ、非財務情報開示と企業価値との関係を重視するべき、という議論もある。このような状況を踏まえ、ROEを重視した株主価値、企業価値の向上を掲げる財務戦略と ESG 財務戦略のような新たな方向性の二つの側面から、現代企業の財務戦略について検討する。</p>																							
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 <p>「財務戦略論」は戦略という意味では「経営戦略論」と、財務という点においては「財務管理論」、「財務分析Ⅰ」ならびに「財務分析Ⅱ」と関連している。講義内容は、具体的な資格や検定試験に直結はしないが、企業という対象を「経営」と「財務」という二つの分野の中間地点から概観することで、企業経営に関する理解が深まる。</p>																							
〔科目の到達目標〕 <p>現代企業の財務戦略の概要を理解し、株主価値経営という視点からみた財務戦略と近年注目される ESG 財務戦略について、自らの企業観に基づき論じることが出来る。</p>																							
〔ディプロマ・ポリシー (DP) との関係〕																							
<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th colspan="4">学部</th> <th colspan="3">学科</th> </tr> <tr> <th>DP1</th> <th>DP2</th> <th>DP3</th> <th>DP4</th> <th>DP1</th> <th>DP2</th> <th>DP3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>			学部				学科			DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3	○				○		○
学部				学科																			
DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3																	
○				○		○																	
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 <p>復習や練習問題が好評なので、こちらは今年度も継続したいと思います。</p>																							
〔教科書〕 伊藤邦雄(2023)『企業価値経営第2版』日本経済新聞出版社																							
〔指定図書〕 A) 桑島浩彰・田中慎一・保田隆明(2022)『SDGS 時代を勝ち抜く ESG 財務戦略』ダイヤモンド社 B) 柳良平(2017)『ROE 革命の財務戦略－外国人投資家が日本企業を強くする』中央経済社																							
〔参考書〕																							
〔前提科目〕 簿記・会計の基礎科目																							
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 評価方法 定期試験(筆記)																							

<p>〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕</p> <p>現代企業の経営について、財務戦略の視点から、受講者の皆さんとともに考えていきたいと思ひます。企業に関するに日頃から目を向け、情報を収集するよう心がけてください。</p>	
<p>〔実務経歴〕</p> <p>該当なし</p>	
<p>授業スケジュール</p>	
第1回	<p>テーマ: イントロダクション 財務戦略とは何か</p> <p>内 容: 現代の財務戦略における課題を概観する</p> <p>教科書 序章 指定図書 B)第1章</p>
第2回	<p>テーマ: 価値思考と財務戦略</p> <p>内 容: 企業価値とガバナンス改革</p> <p>教科書 序章</p>
第3回	<p>テーマ: 企業価値経営のフレームワーク</p> <p>内 容: 企業価値経営とは何か</p> <p>教科書 第2章</p>
第4回	<p>テーマ: 財務諸表から読む企業活動</p> <p>内 容: 財務諸表から企業活動とその財務戦略を読む</p> <p>教科書 第3章</p>
第5回	<p>テーマ: 戦略的ファンダメンタル分析</p> <p>内 容: 財務分析について</p> <p>教科書 第4章 指定図書 B)第2章</p>
第6回	<p>テーマ: 会計戦略分析</p> <p>内 容: 会計政策と戦略</p> <p>教科書 第6章・</p>
第7回	<p>テーマ: 証券市場と企業評価</p> <p>内 容: 市場と会計情報、投資家との対話について</p> <p>教科書第9章 指定図書 B)第6章</p>
第8回	<p>テーマ: 学修のまとめ①</p> <p>内 容: 第1回から第7回までのまとめ</p> <p>教科書 序章 第2,3,4,6,9章</p>
第9回	<p>テーマ: 資本コスト</p> <p>内 容: 資本コストの測定と管理</p> <p>教科書 第10章 指定図書 B)第4章</p>
第10回	<p>テーマ: M&A</p> <p>内 容: 企業価値創造のための M&A と事業ポートフォリオ</p> <p>教科書 第12章</p>
第11回	<p>テーマ: 統合報告書</p> <p>内 容: 近年公表される株式会社の統合報告について。</p> <p>配布資料</p>

第 12 回	<p>テーマ:無形資産と財務戦略</p> <p>内 容: 無形資産の価値評価と前略的活用。</p> <p>教科書 第 14 章</p>
第 13 回	<p>テーマ:ESG 経営と財務戦略①</p> <p>内 容:ESG の視点から財務戦略を考える。</p> <p>教科書 第 15 章 指定図書 A) 第 2 章</p>
第 14 回	<p>テーマ:ESG 経営と財務戦略②</p> <p>内 容:近年注目される、非財務情報と企業評価について</p> <p>教科書 第 15 章 指定図書 A) 第 3 章</p>
第 15 回	<p>テーマ:学修のまとめ②</p> <p>内 容:第 9 回から第 14 回までのまとめ。</p> <p>教科書 第 1 章～第 6 章 指定図書第 1, 2, 4, 6 章</p>
試 験	<p>定期試験(筆記)</p>